EVNIA

34M2C6500AM

ADJUST YOUR SETTINGS WITH EVNIA PRECISION CENTER

JA

ユーザーマニュアル

Register your product and get support at www.philips.com/welcome

PHILIPS

目次

1. **重要** **1**
   - 1.1 安全のための注意事項とメンテナンス 1
   - 1.2 表**記**の**説**明 3
   - 1.3 **製**品と**梱**包材料の**廃棄** **4**

2. モニタをセットアップする 5
   - 2.1 取り付け 5
   - 2.2 モニタを操作する 7
   - 2.3 ベーススタンドおよびベースを取り外します 10
   - 2.4 MultiView 11

3. 画像の最**適**化 14
   - 3.1 SmartImage 14
   - 3.2 SmartContrast 16

4. NVIDIA® G-SYNC®サポート 17

5. AMD FreeSync™ Premium 18

6. Ambiglow 19

7. HDR 20

8. 画面のメンテナンス 21

9. コンピューター視覚症候群 (CVS) を防止するための設計 24

10. 技術仕様 25
    - 10.1 解像度とプリセットモード 28

11. **電**源管理 30

12. カスタマサポートと保証 31
    - 12.1 Philipsのフラットパネルモニタ画素欠陥ポリシー 31
    - 12.2 カスタマサポートと保**証** **34**

13. トラブルシューティング& FAQ ... 35
    - 13.1 トラブルシューティング 35
    - 13.2 一般FAQ 37
    - 13.3 Multiview FAQ 39

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philips モニタを使用するユーザーを対象にしています。モニタを使用する前に、本ユーザーズマニュアルをよくお読みください。モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips 保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電気的障害、機械的災害につながる可能性があります。

コンピュータのモニタを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

取り扱い

- モニターを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、モニタが変色したり損傷する結果を招きます。
- ディスプレイにオイルが付着しないようにしてください。オイルは、ディスプレイのプラスチック製カバーを損傷させる可能性があります。その場合、保証は無効になります。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、モニタの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- モニタの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニタの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）
- 指定された電源で動作させてください。必ず指定の電源でモニターを操作してください。誤った電圧で使用すると故障の原因となり、火災や感電の原因となります。
- ケーブルを保護してください。電源ケーブルや信号ケーブルを引っ張ったり曲げたりしないでください。モニターやその他の重いものをケーブルの上に置かないでください。ケーブルが損傷した場合、火災や感電の原因となることがあります。
- 操作中、モニタに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。
- パネルがベゼルから外れるなどの損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。-5度下向き傾き最大角度を超え、ディスプレイが損傷した場合、保証の対象外となります。
- 操作または輸送中、またQD OLEDを強く打ったり落としたりしないでください。
- モニターの過度の使用は目の不快感を引き起こす可能性があります。ワークステーションにおいて、あまり頻繁ではない長い休憩よりも短い休憩をとることをお勧めします。例えば、50～60分の連続画面使用後の5～10分の休憩は、2時間ごとの15分間の休憩よりも効果が高い可能性があります。 一定時間画面を使用している間、以下を行い、目の疲れから目を解放するようにしてください：
  - 長時間画面を注視した後は、さまざまな距離を見てみましょう。

- 作業中に意識的に瞬きをしてみましょう。
- ゆっくりと目を閉じ、目をキョロキョロさせて、目をリラックスさせてみましょう。
- 画面をあなたの座高にあわせて、適切な高さと角度にしてみましょう。
- 明るさとコントラストを適切なレベルに調整してみましょう。
- 環境照明を画面の明るさに似た明るさに調整し、蛍光灯やあまり光を反射しない表面を避けましょう。
- 症状がある場合は、かかりつけの医師に相談してみましょう。

メンテナンス

- モニタを損傷の可能性から保護するために、QD OLEDパネルに過剰な圧力をかけないでください。モニタを動すときは、フレームをつかんで持ち上げてください。またQD OLEDパネルに手や指を置いてモニタを持ち上げないでください。
- オイルを主成分とする清浄液は、プラスチック製カバーを損傷させる可能性があります。その場合、保証は無効になります。
- 長時間使用しない場合は、電源ののプラグを抜いてください。
- 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してモニタを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、モニタを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- モニタが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- モニタに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でモニタを保管したり、使用したりしないでください。
- モニタの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る環境でモニタを使用してください。
  - 温度：0°C～40°C 32°F～104°F
  - 湿度：20%～80% RH

焼き付き / ゴースト像に関する重要な情報

- オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューからスクリーンセーバーとピクセルオービティング機能を常にオンにしてください。詳細については、第8章「画面のメンテナンス」を参照してください。
- 「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はQD OLEDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

⚠ 警告

画面を最大限に保護するために、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューからスクリーンセーバーとピクセルオービティング機能を常にオンにすることを強くお勧めします。

修理

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）
- 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- 直射日光下の車内/トランクにモニタを放置しないでください。

注
モニタが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からない場合、カスタマケアセンターにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロックにはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

注
このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

注意
このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

警告
このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

注
アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器 -WEEE

This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

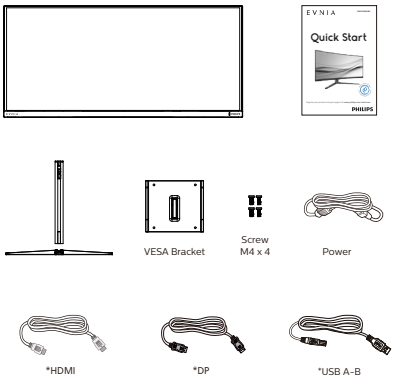
To learn more about our recycling program please visit

http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html

2. モニタをセットアップする

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの

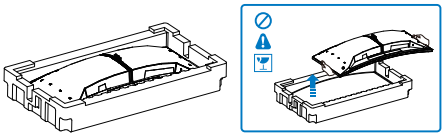


注

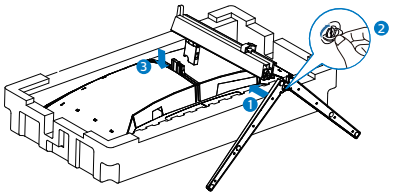
販売する国・地域により付属されるケーブルが異なることがございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

2 ベーススタンドの取り付け

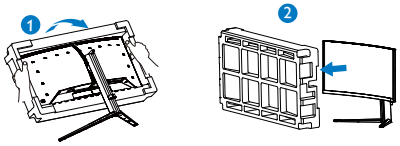
1. このモニタを十分に保護し、モニタの傷や損傷を避けるため、モニタを下向きにしてベース取り付け用のクッションに入れてください。



2. 両手でスタンドを持ちます。
   (1) ベースをスタンドにそっと取り付けます。
   (2) 指を使ってベースの底部にあるネジを締めます、ベースを支柱にしっかりと固定します。
   (3) VESA マウント部の掛け金がロックされるまでゆっくりとスタンドを取り付けます。



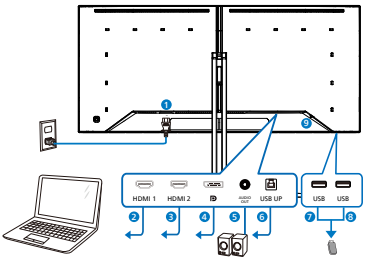
3. ベースを取り付けたら、両手でモニターと発泡スチロールを一緒にしっかりと保持して立てます。発泡スチロールを引き出してください。発泡スチロールを引き出すときは、パネルの破損を避けるため、パネルを絞らないでください。



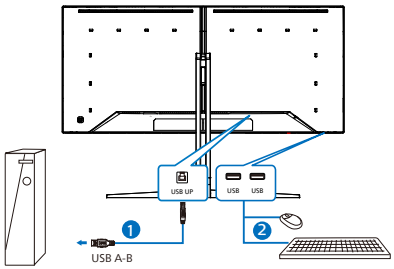
警告

本製品は曲面設計です。ベースに着脱する際は、モニターの下に保護素材を使用してください。また損傷を避けるためモニターを押さないでください。

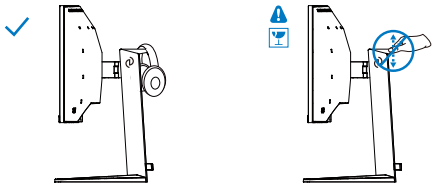
3 PC に接続する



USB hub



Headphone hook



❶ AC電源入力
❷ HDMI 1 入力
❸ HDMI 2 入力
❹ Displayport 入力
❺ オーディオアウト
❻ USB UP
❼ USB ダウンストリーム
❽ USB ダウンストリーム
❾ Kensingtonロック

PC に接続する

1. 電源コードをモニタ背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. モニタに信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとモニタの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとモニタの電源をオンにします。モニタに画像が表示されたら完了です。

注

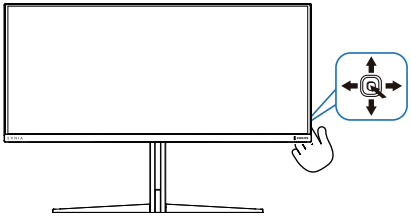
ヘッドフォンホルダーはモニタースタンドとしっかりと統合されており、ヘッドセットの保管用に特別に設計されています。フックを過度に引っ張ったり、引きずったり、使用目的を超えて使用すると破損する恐れがありますのでご注意ください。

4 USB ハブ

国際的なエネルギー標準に準拠するために、このディスプレイのUSBハブ/ポートはスタンバイモードとオフモードの間、無効になります。
この状態のとき、接続されているUSBデバイスは動作しません。
USB機能をずっと「オン」の状態にするには、OSDメニューに移動し、「USB待機モード」を選択し、これを「オン」状態に切り替えます。モニターを工場出荷時設定にリセットする場合は、必ず、OSD メニューで、「USB スタンバイモード」を「オン」に選択してください。

2.2 モニタを操作する

1 コントロールボタンの説明

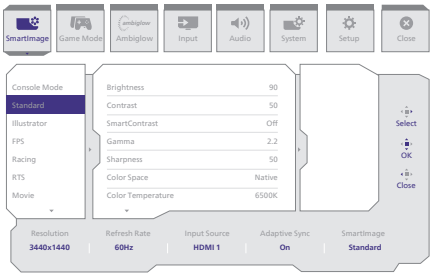


❶		押して、電源をオンに切り替えます。3 秒以上長押しして、電源をオフに切り替えます。
❷	➡	OSDメニューにアクセスします。
		OSD調整を確認します。
❸	⬇	ゲームモードを調整します。
		OSDメニューを調整します。
❹	⬆	信号入力ソースを変更します。
		OSDメニューを調整します。
❺	⬅	SmartImage ゲームメニュー。次の複数の選択肢があります：Console Mode(コンソールモード), Standard（標準）、イラストレーター、FPS、レーシング、RTS、Movie（動画）、LowBlue モード、EasyRead、Economy(エコノミー)、ゲーマー 1、ゲーマー 2。ディスプレイが HDR 信号を受信すると、SmartImage は HDR メニューを表示します。次の複数の選択肢があります：HDR ゲーム、HDR ムービー、HDR Vivid、HDR True Black、個人、HDR 1000 Max、オフ。
		前のOSDレベルに戻ります。

2 オンスクリーンディスプレイの説明

オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは？

オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips QD OLED モニタに装備されています。これにより、ユーザーはオンスクリーンの指示ウィンドウを通して直接画面パフォーマンスを調整したりモニタの機能を選択したりできます。オンスクリーンディスプレイインターフェースは、以下のように表示されます。

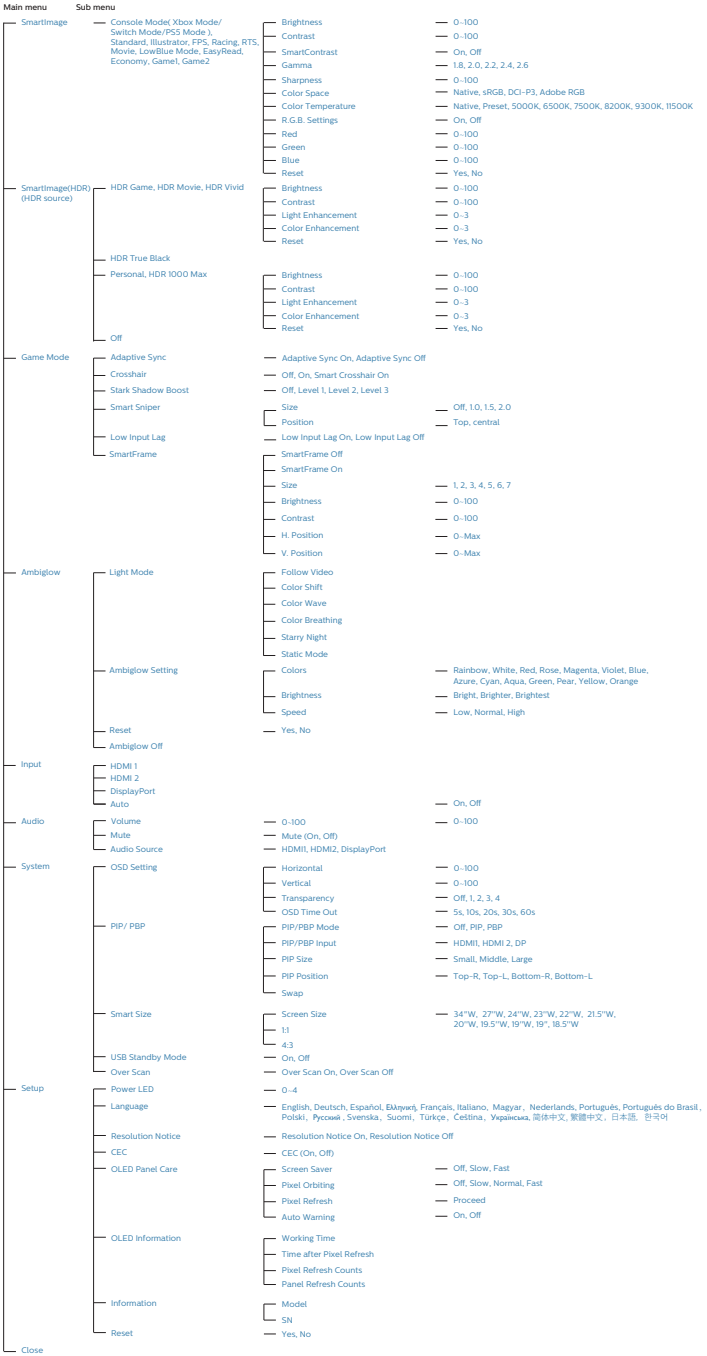


コントロールキーの基本および簡単な指示

この Philips ディスプレイで OSD メニューにアクセスするには、ディスプレイの背面の 1 つの切り替えボタンを使用します。 シングルボタンはジョイスティックのように操作します。カーソルを移動するには、ボタンを四方向に動かすだけです。ボタンを押して、希望のオプションを選択します。

OSD メニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。


Main menu
Sub menu
SmartImage
Console Mode(Xbox Mode/ Switch Mode/PS5 Mode), Standard, Illustrator, FPS, Racing, RTS, Movie, LowBlue Mode, EasyRead, Economy, Game1, Game2
Brightness
0~100
Contrast
0~100
SmartContrast
On, Off
Gamma
1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6
Sharpness
0~100
Color Space
Native, sRGB, DCI-P3, Adobe RGB
Color Temperature
Native, Preset, 5000K, 6500K, 7500K, 8200K, 9300K, 11500K
R.G.B. Settings
On, Off
Red
0~100
Green
0~100
Blue
0~100
Reset
Yes, No
SmartImage(HDR) (HDR source)
HDR Game, HDR Movie, HDR Vivid
Brightness
0~100
Contrast
0~100
Light Enhancement
0~3
Color Enhancement
0~3
Reset
Yes, No
HDR True Black
Personal, HDR 1000 Max
Brightness
0~100
Contrast
0~100
Light Enhancement
0~3
Color Enhancement
0~3
Reset
Yes, No
Off
Game Mode
Adaptive Sync
Adaptive Sync On, Adaptive Sync Off
Crosshair
Off, On, Smart Crosshair On
Stark Shadow Boost
Off, Level 1, Level 2, Level 3
Smart Sniper
Size
Off, 1.0, 1.5, 2.0
Position
Top, central
Low Input Lag
Low Input Lag On, Low Input Lag Off
SmartFrame
SmartFrame Off
SmartFrame On
Size
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
Brightness
0~100
Contrast
0~100
H. Position
0~Max
V. Position
0~Max
Ambiglow
Light Mode
Follow Video
Color Shift
Color Wave
Color Breathing
Starry Night
Static Mode
Ambiglow Setting
Colors
Rainbow, White, Red, Rose, Magenta, Violet, Blue, Azure, Cyan, Aqua, Green, Pear, Yellow, Orange
Brightness
Bright, Brighter, Brightest
Speed
Low, Normal, High
Reset
Yes, No
Ambiglow Off
Input
HDMI 1
HDMI 2
DisplayPort
Auto
On, Off
Audio
Volume
0~100
0~100
Mute
Mute (On, Off)
Audio Source
HDMI1, HDMI2, DisplayPort
System
OSD Setting
Horizontal
0~100
Vertical
0~100
Transparency
Off, 1, 2, 3, 4
OSD Time Out
5s, 10s, 20s, 30s, 60s
PIP/ PBP
PIP/PBP Mode
Off, PIP, PBP
PIP/PBP Input
HDMI1, HDMI 2, DP
PIP Size
Small, Middle, Large
PIP Position
Top-R, Top-L, Bottom-R, Bottom-L
Swap
Smart Size
Screen Size
34"W, 27"W, 24"W, 23"W, 22"W, 21.5"W, 20"W, 19.5"W, 19"W, 19", 18.5"W
1:1
4:3
USB Standby Mode
On, Off
Over Scan
Over Scan On, Over Scan Off
Setup
Power LED
0~4
Language
English, Deutsch, Español, Ελληνική, Français, Italiano, Magyar, Nederlands, Português, Português do Brasil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Українська, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어
Resolution Notice
Resolution Notice On, Resolution Notice Off
CEC
CEC (On, Off)
OLED Panel Care
Screen Saver
Off, Slow, Fast
Pixel Orbiting
Off, Slow, Normal, Fast
Pixel Refresh
Proceed
Auto Warning
On, Off
OLED Information
Working Time
Time after Pixel Refresh
Pixel Refresh Counts
Panel Refresh Counts
Information
Model
SN
Reset
Yes, No
Close

注

- OLEDパネルのお手入れの詳細については、画面のメンテナンスに関する第8章を参照してください。

ゲームモード：このモデルには、高品質な視覚体験を提供するOSDの新機能が搭載されています。

- Stark ShadowBoost
  この機能は、明るい領域を露出過度にすることなく、暗いシーンを強調します。Stark Shadowboost機能には3つの選択可能なレベルがあり、コントラストが高く、彩度が高く、テクスチャ化された画像が提供されるため、明るい環境でも暗い環境でもよりよく見えるようになります。さらに、この機能は、ゲーム中に敵をより早く露出できるように視覚を微調整するのに役立ちます。
- スマートクロスヘア
  十字線の色はデフォルトで設定されています。スマートクロスヘアがオンの場合、背景色の補色として色が変化します。スマートクロスヘアは照準の精度を高め、敵をより簡単に発見できます。
- Smart Sniper
  この機能を使用すると、一度に複数のターゲットにズームインできるため、敵を狙って攻撃しやすくなります。
- このPhilipsモニターは、AMD FreeSync™とNVIDIA® G-SYNC® compatibleであることが認定されています。このテクノロジーは、モニターのリフレッシュレートをグラフィックカードに一致させるために使用されます。ジャダー、テアリング、スタッタリングを低減または排除することにより、最も滑らかなゲーミングエクスペリエンスを実現します。

  オンスクリーンディスプレイメニューからAdaptive-Syncを有効化すると、お使いのコンピューターに取り付けられているグラフィックカードに応じて、適切な技術が自動的にアクティブ化されます。
  - AMD Radeon グラフィックカードを使用している場合は、FreeSync が有効化されます。
  - NVIDIA GeForce グラフィックカードを使用している場合は、G-SYNC compatible が有効化されます。
- G-SYNC compatible 認定に関する詳細情報を記載した最新バージョンのリーフレットをwww.philips.com/support にアクセスして、ダウンロードしてください。

3 解像度通知

このモニタは、そのネーティブ解像度 3440 x 1440 で最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。モニタが異なる解像度で作動しているとき、画面にアラートが表示されます。Use 3440 x 1440 for best results.

解像度アラートの表示は、OSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューのセットアップからオフに切り替えることができます。

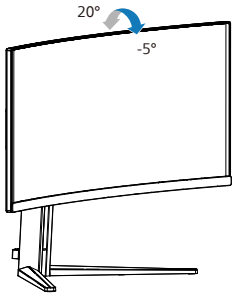
4 ファームウェア

OTA（Over The Air）ファームウェアアップデートは、Evnia Precision Center ソフトウェアを介して行われ、Philips の Web サイトから簡単にダウンロードできます。Evnia Precision Center は何をしますか?これは、モニターの写真、オーディオ、その他の画面上のグラフィック設定を制御するのに役立つ追加ソフトウェアです。

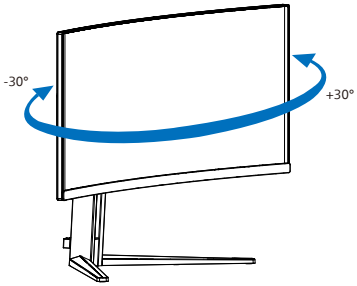
「セットアップ」セクションでは、現在使用しているファームウェアのバージョンと、アップグレードが必要かどうかを確認できます。さらに、ファームウェアのアップグレードは Evnia Precision Center ソフトウェアを介して行う必要があることに注意することが重要です。Evnia Precision Center over-the-air（OTA）でファームウェアをアップデートする場合は、ネットワークに接続する必要があります。

5 角度調整

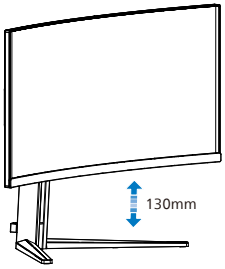
チルト



スイベル



高さ調節



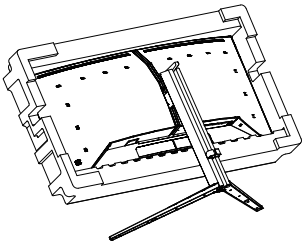
警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。 ベゼルのみを持つようにしてください。

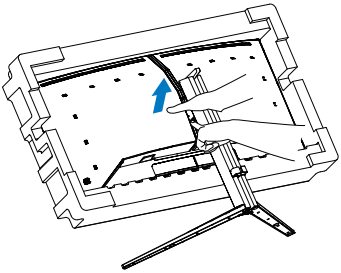
2.3 ベーススタンドおよびベースを取り外します

モニターベースを分解する前に、損傷や怪我を防止するために下記の指示に従ってください。

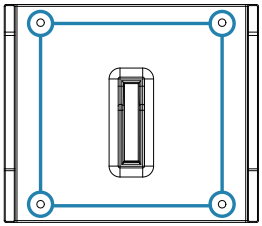
1. モニタ面を下にして、滑らかな面に置きます。 画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。

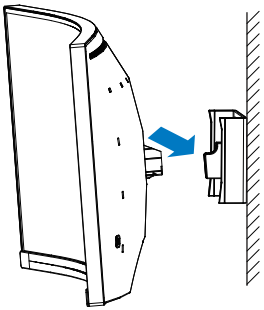


2. リリースボタンを押したまま、ベースを傾けて、スライドしてはずします。



3. ラッチが VESA をロックするまで、ラッチを VESA にゆっくりと取り付けます。



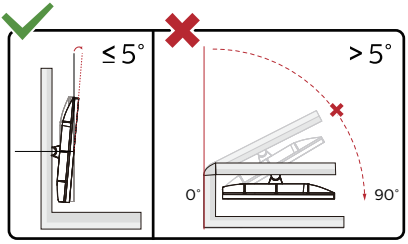


注

VESA 準拠の取り付けインターフェース。VESA 取り付けネジ M4。ウォールマウント設置については、必ず製造元にお問い合わせください。

警告

本製品は曲面設計です。ベースに着脱する際は、モニターの下に保護素材を使用してください。また損傷を避けるためモニターを押さないでください。



* ディスプレイのデザインは、これらの図とは異なる場合があります。

警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。 ベゼルのみを持つようにしてください。

2.4 MultiView

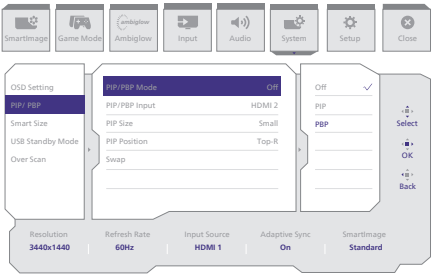
1 MultiView とは？

Multiview により、アクティブな様々な種類の接続が可能になり、デスクトップ PC やノート PC のような複数のデバイスを同時に並べて使用できるようになるため、複雑なマルチタスク作業がやりやすくなります。

2 必要な理由は？

超高解像度 Philips MultiView ディスプレイでは、職場でも家庭でも便利な接続性を享受できます。 このディスプレイを使用することで、1 つの画面で複数のコンテンツソースを簡単にお楽しみになれます。 例：小さなウィンドウでオーディオをオンにしたままライブニュースビデオを見ながら、最新のブログに取り組んだり、ウルトラブックから Excel ファイルを編集しながら、会社のイントラネットにログインしてデスクトップからファイルにアクセスしたりする事が可能になります。

3 OSD メニューで MultiView を有効にするにはどうすればいいのですか？



1. OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。
2. 上または下に動かして、メインメニュ

ー[PIP / PBP]を選択し、次に右に動かして確定します。

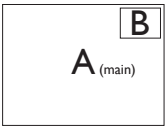
3. 上または下に動かして、[PIP / PBP Mode]（PIP / PBPモード）を選択し、次に右に動かします。
4. 上または下に動かして、 [PIP]、[PBP]を選択し、次に右に動かします。
5. これで逆行し、[PIP/PBP 入力]、[PIP サイズ]、[PIP 位置]、[スワップ] を設定できます。
6. 右に動かして選択を確定します。

4 OSD メニューの MultiView

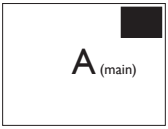
- PIP / PBP Mode (PIP / PBPモード): MultiViewには、次の2つのモードがあります: [PIP]および[PBP]。

[PIP]: ピクチャインピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを開きます。

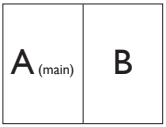


サブソースが検出されない場合 :



[PBP]: ピクチャバイピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。



サブソースが検出されない場合 :

注

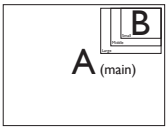
PBP モードでは、黒い帯が画面の上部と下部に正しいアスペクト比を表示します。フルスクリーンを並べて表示する場合は、デバイスの解像度を注目解像度に合わせて調整します。このデバイスには、2 つのデバイスソーススクリーンプロジェクトが黒い帯なしで並べて表示されます。アナログ信号は、PBP モードにおいて、この全画面表示をサポートしていないことに注意してください。

- PIP/PBP入力：サブ表示ソースとして選択する異なるビデオ入力があります： [HDMI 1], [HDMI 2], [DP]。

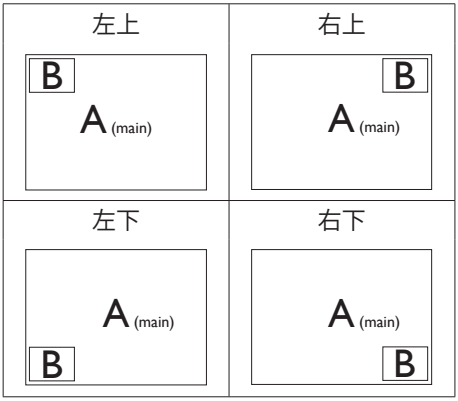
メイン / サブ入力ソースの互換性については、以下の表を参照してください。

MultiView		サブソースの可能性 (xl)		
	入力	HDMI 1	HDMI 2	DisplayPort
メインソース (xl)	HDMI 1	•	•	•
	HDMI 2	•	•	•
	DisplayPort	•	•	•

- PIP Size(PIPサイズ): PIPがアクティブになっているとき、次の3つのサブウィンドウサイズを選択できます。[Small(小)]、 [Middle(中)]、[Large(大)]。

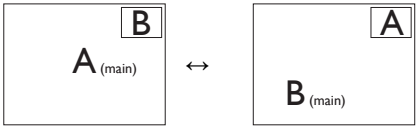


- PIP Position(PIP位置): PIPがアクティブになっているとき、次の4つのサブウィンドウ位置を選択できます。

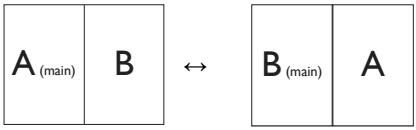


- Swap(スワップ): ディスプレイでスワップされたメインピクチャソースとサブピクチャソース。

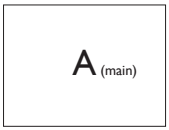
  [PIP] モードの A と B ソースのスワップ :

  [PBP] モードの A と B ソースのスワップ :

- Off(オフ): MultiView機能を停止します。

注
スワップ機能を実行すると、ビデオとそのオーディオソースが同時にスワップされます。

3. 画像の最適化

3.1 SmartImage

1 SmartImage とは？

SmartImage はさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされて、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImage は最適化された最高のモニタパフォーマンスを発揮します。

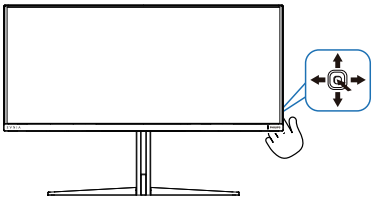
2 必要な理由は？

あなたはお気に入りのタイプのコンテンツをすべて最適化された状態で表示するモニタを必要としています。SmartImage ソフトウェアは輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整し、あなたのモニタの鑑賞体験を向上します。

3 これは、どのように作動するのですか？

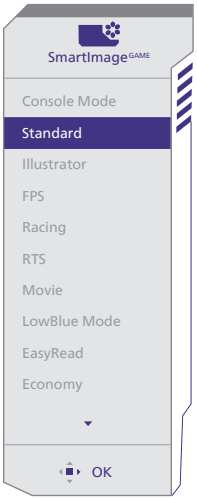
SmartImage は画面に表示されたコンテンツを分析する Philips 独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImage は画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては 1 つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

4 SmartImage はどのようにして有効にするのですか？



1. 左に動かし、画面ディスプレイで SmartImageを起動します。
2. 上または下に切り替えて、smartImage モードの間で選択してください。
3. 画面ディスプレイのSmartImageが5秒間画面に表示されます。または右に動かして確認することもできます。

次の複数の選択肢があります：Console Mode(コンソールモード), Standard（標準）、イラストレーター、FPS、レーシング、RTS、Movie（動画）、LowBlue モード、EasyRead、Economy（エコノミー）、ゲーマー 1、ゲーマー 2。



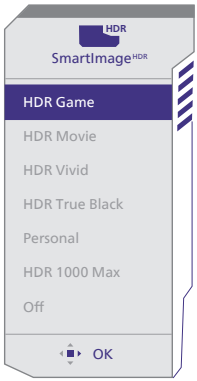
- **Console Mode(コンソールモード)：**異なるコンソールでプレイすると、このモードは異なるコンソールを認識し、モードのタイトル名を変更できます。例：Xboxモード、PS5モード、Switch モード。
- **Standard（標準）：**テキストを強化して輝度を抑えることで読みやすさを向上し、目の疲れを和らげます。スプレッドシート、PDFファイル、スキャンされた記事、その他の一般的オフィスアプリケーションで作業しているとき、このモードは読みやすさと生産性を大幅に向上します。
- **イラストレーター：**この設定はクリエイターのニーズに応えるもので、ユーザ

ーは自分のニーズに最適な色空間を選択できます。

- **FPS：**FPS（ファーストパーソンシューター）ゲームをプレーする場合。暗いシーンの黒色レベルの詳細が改善されました。
- **レーシング：**レーシングゲームをプレーする場合。最高速の応答時間と高い彩度を実現しました。
- **RTS：**RTS（リアルタイムストラテジー）ゲームをプレーする場合、ユーザー選択箇所をハイライト表示できるようになりました（SmartFrameを介して）。ハイライト表示箇所に対して、画質を調整することができます。
- **Movie（動画）：** 輝度を上げ、彩度、ダイナミックコントラスト、レーザーシャープネスを深め、ビデオの暗い領域を細部まで表示します。明るい領域の色落ちはなく、ダイナミックな自然値を維持して究極のビデオ表示を実現します。
- **LowBlueモード:** LowBlueモードは目に優しく、生産性を上げます。研究によると、紫外線が目に良くないのと同様に、LEDディスプレイの短波ブルーライトは目にダメージを与え、時間の経過と共に視力に影響を与えるとのことです。健康のために開発されたPhilips LowBlueモード設定ではスマートソフトウェア技術を利用し、有害な短波ブルーライトを軽減します。
- **EasyRead：** PDF電子書籍のようなテキストベースのアプリケーションの読み取りの向上に役立ちます。テキストコンテンツのコントラストと境界のシャープネスを上げる特殊なアルゴリズムを使用することで、モニタの輝度、コントラスト、色温度が調整され、ディスプレイはストレスなしに読み取ることができるように最適化されます。
- **Economy（エコノミー）：** このプロファイルの下で、輝度、コントラストが調整され、毎日のオフィスアプリケーションを適切に展示するためにバックライトを微調整して、消費電力を下げます。
- **ゲーマー1:** ユーザー環境設定は、ゲーマー1として保存されます。
- **ゲーマー2:** ユーザー環境設定は、ゲーマー2として保存されます。

ディスプレイが、接続されたデバイスからHDR 信号を受信したら、ニーズに最もふさわしい画像モードを選択してください。

次の複数の選択肢があります：HDR ゲーム、HDR ムービー、HDR Vivid、HDR True Black、個人、HDR 1000 Max、オフ。



- **HDRゲーム：** ビデオゲームのプレイを最適化するための理想的な設定です。白がより明るくなり、黒がより暗くなるので、ゲーミングシーンが鮮やかになり、細部まで見やすくなり、暗いコーナーや影に隠れた敵を容易に発見できます。
- **HDRムービー：** HDRムービーの視聴に理想的な設定です。より現実的で没頭できる視聴体験を実現するために、より良いコントラストと輝度を提供します。
- **HDR Vivid：**赤、緑、青を強化して、実物そっくりのビジュアルを実現します。
- **HDR True Black：**VESA HDR True Black規格を満たします。
- **個人：** 画像メニューで利用可能な設定をカスタマイズします。
- **HDR 1000 Max:** HDR 1000 Max モードの EOTF 曲線は標準に近くなります。

- **オフ:** SmartImage HDRによる最適化を行いません。

注
HDR機能をオフに切り替える場合は、入力デバイスとそのコンテンツを無効にしてください。

入力デバイスとモニターの間のHDR設定が異なると、十分な画像が得られない場合があります。

3.2 SmartContrast

1 SmartContrast とは？

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、QD OLED モニタのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することでクリアで、くっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

2 必要な理由は？

どのような種類のコンテンツも明瞭に表示され、快適にご覧いただけます。SmartContrast はコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、見やすいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。モニタの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、モニタの寿命を延ばすとができます。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartContrast をアクティブにするとき、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整し、バックライト強度を制御します。この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

4. NVIDIA® G-SYNC®サポート

リフレッシュレートを高くして激しいゲームに熱中すると、グラフィックスの同期がうまくいかず、画面に乱れ（テアリング）が生じる場合があります。本製品は NVIDIA® G-SYNC® 対応の認定を受けており、可変リフレッシュレート（VRR）が画面の乱れを減らしてモニターのリフレッシュレートをグラフィックカードの出力に同期させ、滑らかなゲーム体験を保ちます。ゲーム画面が瞬時に表示され、物体がより鮮明に映し出され、ゲームプレイが滑らかになり、驚異的なビジュアル体験を演出して、競合相手に対して優位に立てるようにします。

注

- 出力のパフォーマンスを最大にするため、グラフィックカードが本Philips製ディスプレイの最大解像度とリフレッシュレートに必ず対応できるようにしてください。
- NVIDIA® G-SYNC®サポートのインターフェース：DisplayPort。
- グラフィックカードはNVIDIA® G-SYNC®をサポートするものをご使用ください。
- NVIDIA® G-SYNC®ドライバーを最新バージョンに保ってください。詳細はNVIDIAのウェブサイトをご覧ください：https://www.nvidia.com/.
- ©2019 NVIDIA、NVIDIAロゴ、NVIDIA G-SYNCは、米国とそれ以外の国々におけるNVIDIA Corporationの商標および/または登録商標です。

5. AMD FreeSync™ Premium

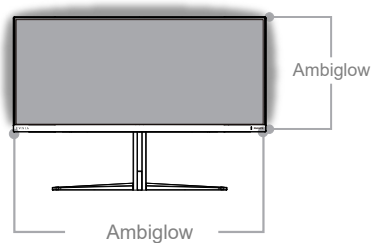
PC ゲームは長い間不完全な状態でした。GPU とモニターの更新レートが異なるためです。GPU がモニターの 1 回の更新中に新しいピクチャをたくさんレンダリングできるとき、モニターは各ピクチャの断片を 1 つのイメージとして表示することがあります。これが「テアリング」です。ゲーマーは「v-sync」と呼ばれている機能でテアリングを修正できますが、イメージがちぐはぐになることがあります。GPU は、新しいピクチャを届ける前に、モニターが更新を要求するのを待つからです。

v-sync を利用すると、マウス入力の反応や毎秒の全体フレーム数も下がります。AMD FreeSync ™ Premium テクノロジはこういった問題をすべて解決します。GPU は新しいピクチャが用意できた瞬間にモニターを更新します。信じられないくらい滑らかで、反応性の良い、テアリングのないゲームを楽しめます。

互換性のあるグラフィックスカードでフォロー。

- オペレーティングシステム
  - Windows 11/10
- グラフィックカード:R9 290/300-serie & R7 260シリーズ
  - AMD Radeon R9 300 シリーズ
  - AMD Radeon R9 Fury X
  - AMD Radeon R9 360
  - AMD Radeon R7 360
  - AMD Radeon R9 295X2
  - AMD Radeon R9 290X
  - AMD Radeon R9 290
  - AMD Radeon R9 285
  - AMD Radeon R7 260X
  - AMD Radeon R7 260
- プロセッサーAシリーズデスクトップとモビリティAPU
  - AMD A10-7890K
  - AMD A10-7870K
  - AMD A10-7850K
  - AMD A10-7800
  - AMD A10-7700K
  - AMD A8-7670K
  - AMD A8-7650K
  - AMD A8-7600
  - AMD A6-71000K
  - AMD RX 6500 XT
  - AMD RX 6600 XT
  - AMD RX 6700 XT
  - AMD RX 6750 XT
  - AMD RX 6800
  - AMD RX 6800 XT
  - AMD RX 6900 XT

6. Ambiglow



ambiglow

1 Ambiglow とは?

Ambiglow は、視聴体験に新しい次元を追加します。この革新的な Ambiglow プロセッサーは、画面上の画像に一致するように、全体的な色と輝度を常に調整します。音声モードと同じユーザーオプションである 3 ステップ輝度設定により、希望通りに雰囲気や利用可能な壁面に調整できます。 ゲームをプレイしているか、映画を視聴しているかどうかにかかわらず、Philips Ambiglow は、独自の没頭感のある視聴体験を実現します。

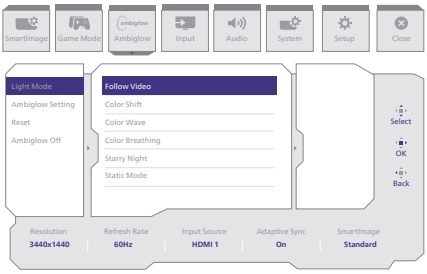
2 どのように動作しますか?

最大限の効果を達成するために、室内の照明を暗くすることをお勧めします。Ambiglow が「オン」モードに設定されていることを確認してください。映画の再生を開始するか、コンピューターからゲームをプレイしてください。ディスプレイは、ハロー効果を作成し、適切な色となるように反応し、画面上の全体的な画像に一致させます。また、お好みに応じて、手動で輝度、より明るい、最大輝度モード、またはAmbiglow 機能オフモードを選択できます。これにより、長時間使用時の目の疲れを軽減できます。

3 Ambiglow を有効にする方法

Ambiglow 機能には、OSD メニューからアクセスできます。有効にするには、次の手順に従います。

1. ジョイスティックを右に動かしてOSDメニューを開き、Ambiglowセクションに移動します。
2. Ambiglowをオンにして、さまざまな照明効果から選択します(デフォルト: Ambiglowオフ)。
3. ジョイスティックをもう一度右に押して、選択を確定します。



7. HDR

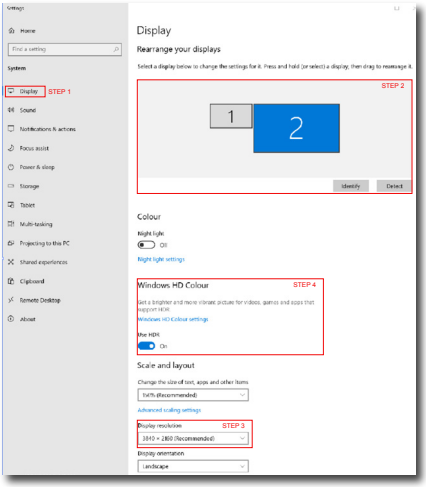
Windows11/10 における HDR 設定

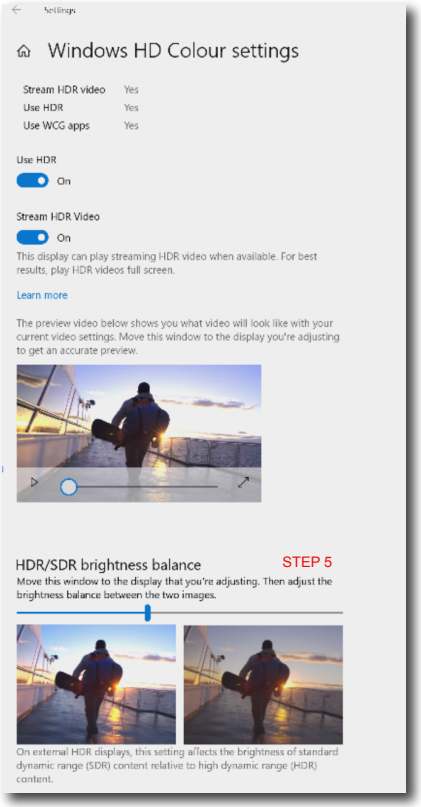
手順

1. デスクトップを右クリックして、ディスプレイ設定に入ります
2. ディスプレイ / モニターを選択します
3. [ディスプレイの再配置] で HDR 対応のディスプレイを選択します。
4. Windows HD の色設定を選択します。
5. SDR コンテンツの輝度を調整します

注 :
Windows11/10 エディションが必要です。常に最新の更新バージョンにアップグレードしてください。

以下は、Microsoft 公式 Web サイトからの詳細情報に関するリンクです。
https://support.microsoft.com/en-au/help/4040263/windows-10-hdr-advanced-color-settings

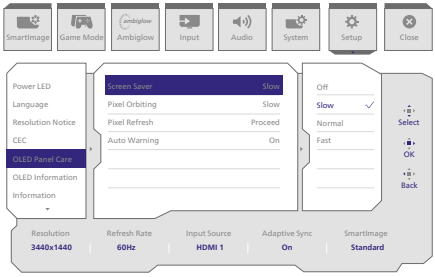




注
HDR機能をオフに切り替える場合は、入力デバイスとそのコンテンツを無効にしてください。入力デバイスとモニターの間のHDR設定が異なると、十分な画像が得られない場合があります。

8. 画面のメンテナンス

QD OLEDディスプレイの特性に従って、画面を保護し、リフレッシュプロセスを実行する必要のある画像焼き付きを低減するために使用される自動メカニズムがあります.これらのメカニズム設定は、QD OLEDパネルケアの下のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで調整できます。



- Screen Saver (スクリーンセーバー)

スクリーンセーバー機能は、静止画像が一定時間表示されていることを検出すると、画面を暗くしてパネルの焼き付きを防止します。 動く画像が検出されると、モニターは輝度を以前の動作状態に回復します。 デフォルト設定は [低速] で、[高速] から [アクティブなスクリーンセーバー] にすぐに変更される場合があります。 画面を保護するために、常にスクリーンセーバーを [低速] または [高速] としてオンにすることを強くお勧めします。また、スクリーンセーバーを使用するようにデバイスを設定することもお勧めします。

- Pixel Orbiting (ピクセル オービティング)

ピクセルシフト機能は、画像を一定の間隔で数ピクセル移動させ、焼き付きを防止します。これは、通常の使用状態ではあまり目立ちません。 デフォルト設定は [低速] で、シフトの頻度を調整するために [ノーマル] または [高速] を選択できます。 画面を保護するために、ピクセル オービティングを常にオンにすることを強くお勧めします。

Pixel Refresh (ピクセルリフレッシュ)：

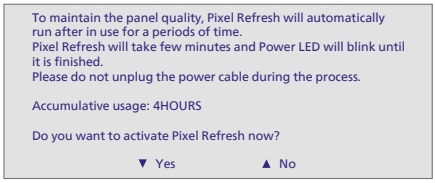
ピクセルリフレッシュ機能により、モニタの焼き付きを防ぐことができます。累計使用時間が 16 時間に達すると、画面が自動的に更新されます。さらに、16 時間の制限に達する前にカウントダウン警告メッセージが表示され、その後、自動的に更新されます。ピクセルリフレッシュはモニタを適切にお手入れするために必要な機能であるため、スキップすることはできません。

ピクセルリフレッシュがアクティブになると、プロセスが完了するまで画面がスタンバイモードになり、LED インジケータが点滅します。ピクセルリフレッシュが完了すると、LED インジケータの点滅が停止し、モニタは通常の動作に戻ります。モニタが 15 分以上スタンバイモードのままの場合、またはユーザーがモニタの電源を切った (累積使用時間が 4 時間を超えた状態で) 場合、ピクセルリフレッシュが自動的に実行されます。これにより、最適な表示性能を維持し、残像を低減することができます。

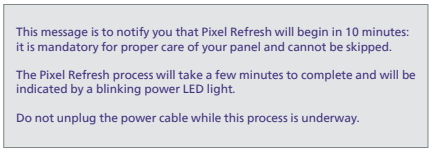
オンスクリーンディスプレイメニューには、自動警告リマインダーがあります (デフォルト : オフ)。この設定を有効にして、ピークパフォーマンスを維持することをお勧めします。自動警告をアクティブ化すると、4 時間の制限時間が経過するとポップアップメッセージが表示され、ユーザーはリフレッシュプロセスをアクティブ化するかスキップするかを選択できます。ユーザーが最初のピクセルリフレッシュを無視することを選択した場合、2

時間ごとにリマインダーが表示されます。累計使用時間が 16 時間に達すると、画面が自動的にリフレッシュされます。

連続して 4 時間使用するとポップアップし、その後 2 時間ごとに表示されるリマインダーメッセージ。



強制実行メッセージ

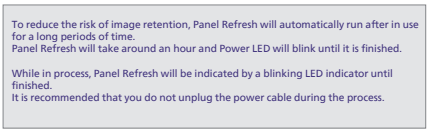


Panel Refresh (パネルリフレッシュ)：

累積使用時間が 2000 時間になると、パネルリフレッシュが自動的に実行され、QD OLED の均一性が調整され、静的コンテンツによる残像が防止されます。有効にすると、プロセスが完了するまでの約 1 時間、画面がスタンバイモードになります。パネルリフレッシュプロセスをスキップすることはできず、パネルリフレッシュが完了すると LED インジケータの点滅が停止することに注意してください。

パネルリフレッシュが完了したことが明らかな場合は、モニターの電源をオンに戻し、アクティビティを再開します。

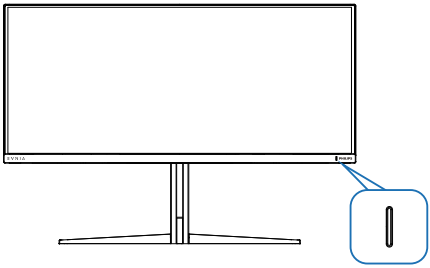
強制実行メッセージ



注

モニターのシェル内部の温度が摂氏 45 度を超えると、ピクセルリフレッシュとパネルリフレッシュがアクティブにならない可能性があることに注意してください。

LED インジケータ



ステータス	LED色
電源オン	白
スタンバイ	白（ブリージング）
ピクセルリフレッシュ	白（点滅）
パネルリフレッシュ	アンバー（点滅）
パネルエラー	アンバー
電源オフ	LEDなし

9. コンピューター視覚症候群 (CVS) を防止するための設計

Philips 製モニターは、長時間のコンピューター使用により引き起こされる目の疲れを防止するように設計されています。以下の指示を遵守し、疲労を軽減し、仕事の生産性を最大化するように、Philips 製モニターを使用してください。

1. 適切な環境照明:
   - 画面の輝度と同じになるように、環境照明を調整してください。蛍光灯による照明、光を反射しすぎる表面を避けてください。
   - 輝度とコントラストを適切なレベルに調整してください。
2. 良好な作業習慣:
   - モニターを長時間使用すると、目の不快感を引き起こす可能性があります。作業机では、長い休憩よりも、短い休憩を頻繁にとるようにしてください。例えば、2 時間ごとに 15 分休憩をとるよりは、50 ～ 60 分ごとに 5 ～ 10 分の休憩をとるようにしてください。
   - 画面上に長時間焦点を合わせた後は、様々距離にある物を見るようにしてください。
   - そっと目を閉じて、目を回転させて、リラックスしてください。
   - 作業中は、意識して頻繁にまばたきをしてください。
   - そっと首を伸ばして、頭をゆっくり前後左右に傾けて、痛みを軽減してください。
3. 理想的な作業姿勢
   - 目の高さに合わせて、画面の高さを角度を再調整してください。
4. 目に優しい Philips モニターを選んでください。
   - 映り込み防止画面: 映り込み防止画面は、目の疲労を引き起こす迷惑で気を散らす反射を効果的に低減します。
   - ちらつき防止技術により、輝度を調整し、ちらつきを減らし、より快適に視聴することができます。
   - LowBlue (ブルーライト低減) モード: ブルーライトは目の疲れを引き起こす可能性があります。Philips LowBlue により、様々な作業環境向けに異なるブルーライトフィルターレベルを設定できます。
   - 紙文書のように読むことができる EasyRead (簡単読み取り) モードは、画面上で長い文書を快適に見ることができます。

10. 技術仕様

画像 / ディスプレイ	
モニタパネルの種類	QD OLED
パネルサイズ	34"(86.36 cm)
縦横比	21:9
画素ピッチ	0.2315 (H) mm x 0.2315 (V) mm
Contrast Ratio (typ.)	1M:1
推奨解像度	3440 x 1440 @ 60 Hz
最大解像度	3440 x 1440 @ 100 Hz (HDMI)[1] 3440 x 1440 @ 175 Hz (DP)[1]
表示角度	178° (H) / 178° (V) @ C/R > 10000 (標準)
画像強調	SmartImage Game / SmartImage HDR
垂直リフレッシュレート	48 Hz - 100 Hz (HDMI) 48 Hz - 175 Hz (DP)
水平周波数	30 KHz - 160 KHz (HDMI) 30 KHz - 275 KHz (DP)
sRGB	あり
フリッカーフリー	あり
LowBlue モード	あり
表示色	10 億 7000 万 (10 ビット)[2]
NVIDIA® G-SYNC® サポート	あり
AMD FreeSync™ Premium Pro	あり
EasyRead	あり
色差	あり
HDR	VESA 認定 DisplayHDR™ True Black 400
Ambiglow	あり
Over-the-airファームウェアアップデート	あり
入出力	
信号入力ソース	HDMI,DisplayPort
コネクター	2 x HDMI 2.0 (HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1 x DisplayPort 1.4 (HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1 x オーディオアウト 1 x USB-B (アップストリーム) 2 x USB-A (ダウンストリーム)
入力信号	セパレート同期

USB	
USB ポート	USB UP x1 (アップストリーム) USB-A x 2 (ダウンストリーム)
USB SuperSpeed	USB-A: USB 3.2 Gen1, 5 Gbps

便宜	
マルチ画面	PIP/PBP モード、2 ×デバイス
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語
その他	Kensington ロック、VESA マウント (100 × 100 mm)
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、sRGB、Windows 11/10、Mac OSX
スタンド	
チルト	-5 / +20 度
スイベル	-30 / +30 度
高さ調節	130 mm

電源			
消費エネルギー	AC入力電圧 100VAC、60Hz	AC入力電圧 115VAC、60Hz	AC入力電圧 230VAC、50Hz
スリープ (ネットワークスタンバイモード)	99.2 W (標準)	98.9 W (標準)	97.1 W (標準)
オフモード	0.5 W	0.5 W	0.5 W
熱放散*	0.3 W	0.3 W	0.3 W
消費エネルギー	AC入力電圧 100VAC、60Hz	AC入力電圧 115VAC、60Hz	AC入力電圧 230VAC、50Hz
スリープ (ネットワークスタンバイモード)	338.57 BTU/時 (標準)	337.54 BTU/時 (標準)	331.40 BTU/時 (標準)
オフモード	1.71 BTU/時	1.71 BTU/時	1.71 BTU/時
熱放散*	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時
電源LEDインジケータ	オン: 白、スタンバイ/スリープモード: 白 (点滅)		
電源	内蔵、100-240VAC、50/60Hz		

寸法	
製品 (スタンド付き) (幅 x 高さ x 奥行き)	813 x 555 x 311 mm
製品 (スタンドなし) (幅 x 高さ x 奥行き)	813 x 367 x 164 mm
梱包サイズ (梱包付き) (幅 x 高さ x 奥行き)	900 x 525 x 226 mm
重量	
製品 (スタンド付き)	7.72 kg
製品 (スタンドなし)	6.15 kg
製品 (梱包付き)	10.64 kg

環境条件	
温度 (操作時)	0°C ～ 40°C
相対湿度 (操作時)	20% ～ 80%

気圧（操作時）	700 ～ 1060 hPa
高度高度こうど（操作時）	0 ～ 5000m（0 ～ 16404 フィート）
温度範囲（非操作時）	-20°C ～ 60°C
相対湿度（非操作時）	10% ～ 90%
気圧（非操作時）	500 ～ 1060 hPa
高度高度こうど（非操作時）	0 ～ 12192m（0 ～ 40000 フィート）
環境	
RoHS	あり
梱包	100% リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFR を含まない筐体
キャビネット	
色	ホワイト
仕上げ	テクスチャ

[1] アクティブなピクセル：3440(H) x 1440(V)。総ピクセル数：3456(H) x 1456(V)、各辺に8ピクセル追加、ピクセル オービティング用に確保されたスペース。

[2] 詳細については、第 10.1 章「ディスプレイ入力形式」を参照してください。

注

1. このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。

2. モニターのファームウェアを最新バージョンにアップデートするには、Evnia Precision Center ソフトウェアを Philips の Web サイトからダウンロードしてください。Evnia Precision Center over-the-air（OTA）でファームウェアをアップデートする場合は、ネットワークに接続する必要があります。

10.1 解像度とプリセットモード

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	720 x 400	70.09
31.47	640 x 480	59.94
35.00	640 x 480	66.67
37.86	640 x 480	72.81
37.50	640 x 480	75.00
35.16	800 x 600	56.25
37.88	800 x 600	60.32
46.88	800 x 600	75.00
48.08	800 x 600	72.19
47.73	832 x 624	74.55
48.36	1024 x 768	60.00
56.48	1024 x 768	70.07
60.02	1024 x 768	75.03
44.77	1280 x 720	59.86
63.89	1280 x 1024	60.02
79.98	1280 x 1024	75.03
55.94	1440 x 900	59.89
65.29	1680 x 1050	59.95
89.48	1720 x 1440 PBP Mode	59.97
67.50	1920 x 1080	60.00
44.41	3440 x 1440	29.99
88.82	3440 x 1440	59.97
150.97	3440 x 1440	99.98
181.2	3440 x 1440	120.00 (DP)
214.56	3440 x 1440	144.00 (DP)
244.366	3440 x 1440	165.001 (DP)
259.175	3440 x 1440	175.00 (DP)

注

ディスプレイは 3440 x 1440 の解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。

最高の出力性能を実現するために、常に、お使いのグラフィックカードが、この Philips ディスプレイの最大解像度と最大リフレッシュレートを達成できることを確認してください。

ディスプレイの入力フォーマット

	422/420 (HDMI2.0)	444/RGB (HDMI2.0)	422/420 (DP1.4)	444/RGB (DP1.4)
3440 x 1440 @175Hz, 10bits	N/A	N/A	OK	N/A
3440 x 1440 @175Hz, 8bits	N/A	N/A	OK	OK
3440 x 1440 @144Hz, 10bits	N/A	N/A	OK	OK
3440 x 1440 @144Hz, 8bits	N/A	N/A	OK	OK
3440 x 1440 @100Hz, 10bits	N/A	N/A	OK	OK
3440 x 1440 @100Hz, 8bits	OK	OK	OK	OK
3440 x 1440 @60Hz, 10bits	OK	OK	OK	OK
Minimum:1920 x 1080 @ 60Hz	OK	OK	OK	OK

注

モニターが適切に機能するには、PC のグラフィックスカードが DisplayPort 1.4 または HDMI 2.0 をサポートしている必要があります。ディスプレイの解像度とリフレッシュレートは、コンピュータのグラフィックカードの能力にも依存します。

11. 電源管理

PC に VESA DPM 準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニタは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が検出されると、モニタは自動的に「呼び起こされます」。次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平同期	垂直同期	使用電力	LED 色
アクティブ	オン	あり	あり	98.9 W（標準） 131.7 W（最大）	白
スリープ（ネットワークスタンバイモード）	Off（オフ）	なし	なし	0.5 W	白（点滅）
オフモード	Off（オフ）	-	-	0.3 W	Off（オフ）

次のセットアップは、このモニタの消費電力を測定するために使用されます。

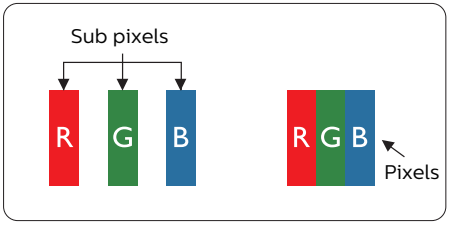
- ネーティブ解像度: 3440 x 1440
- コントラスト: 50%
- 輝度: 90%
- 色温度: 6500k（完全な白パターンの場合）

注
このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

12. カスタマサポートと保証

12.1 Philipsのフラットパネルモニタ画素欠陥ポリシー

Philips は最高品質の製品を提供するために懸命に努力してます。当社は、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を使用しています。しかしながら、フラットパネルモニタで使用される TFT モニタパネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、欠陥があるモニタを修理または交換することを保証します。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を取得するには、TFT モニタパネルの画素欠陥数がこれらの受け入れられるレベルを超えている必要があります。例えば、モニタのサブ画素の 0.0004% を超えただけで欠陥となります。さらに、Philips は特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社より顕著に高い品質基準を設けています。このポリシーは全世界で有効です。



画素とサブ画素

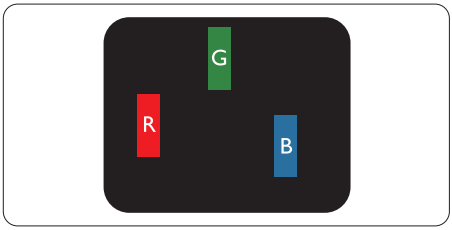
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の 3 つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3 つの色の付いたサブ画素が 1 つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3 つの色の付いたサブ画素は 1 つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の 1 つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

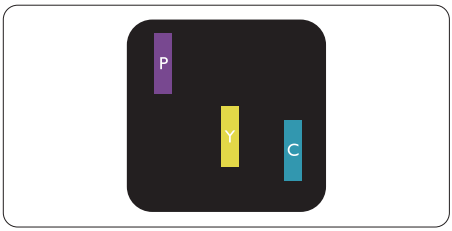
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には 2 つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、明るいドットはモニタが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、明るいドット欠陥の種類を紹介します。

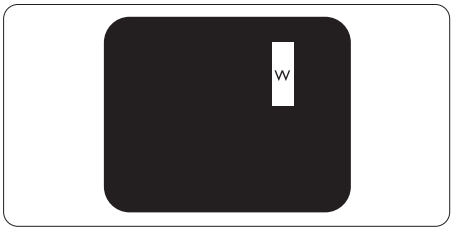


1 つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2 つの隣接する点灯サブ画素 :

- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑（ライトブルー）



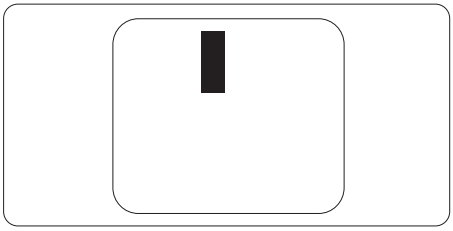
3 つの隣接する点灯サブ画素（1 つの白い画素）。

注

緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

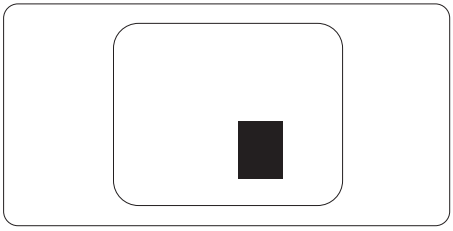
黒いドット欠陥

黒いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはモニタが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips フラットパネルモニタの TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1 つの明るいサブ画素	0
2 つの隣接する点灯サブ画素	0
3 つの隣接する点灯サブ画素 (1 つの白い画素)	0
2 つの明るいドット欠陥の間の距離 *	0
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	0

黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1 つの暗いサブ画素	5 つ以下
2 つの隣接する暗いサブ画素	2 つ以下
3 つの隣接する暗いサブ画素	1 つ以下
2 つの黒いドット欠陥の間の距離 *	≥5mm
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	5 つ以下

ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	5 つ以下

注

1 つまたは 2 つの隣接するサブ画素欠陥 = 1 つのドット欠陥

12.2カスタマサポートと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/support Web サイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りの Philips カスタマケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

注

各地域のサービスホットラインについては、規制とサービス情報マニュアルをご参照ください。Philips ウェブサイトのサポートページからご入手いただけます。

13. トラブルシューティング& FAQ

13.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

写真が表示されない（電源 LED が点灯しない）

- 電源コードがコンセントとモニタ背面に差し込まれていることを確認してください。
- 最初に、ディスプレイの背面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認し、次にオン位置に押します。

写真が表示されない（電源 LED が白くなっている）

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- モニタケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります。

画面に次のようなメッセージが表示される

- モニタケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。（また、クイックスタートガイドも参照してください）。
- モニタケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

自動ボタンが機能しない

- 自動機能はVGAアナログモードでのみ適用可能です。結果が満足のゆくものでない場合、OSDメニューを通して手動調整を行うことができます。

注
自動機能は、DVIデジタル信号モードでは必要ないため適用されません。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順の行わないでください
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philipsカスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像が中央に表示されない

- OSDメインコントロールで「自動」機能を使用して、画像位置を調整してください。
- OSDメインコントロールでセットアップのフェーズ/クロックを使用して、画像位置を調整してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像が画面で揺れる

- 信号ケーブルがグラフィックスボードやPCにしっかり、適切に接続されていることを確認してください。

垂直フリッカが表示される

- OSDメインコントロールで「自動」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでセットアップのフェーズ/クロックを使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

水平フリッカーが表示される

- OSDメインコントロールで「自動」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでセットアップのフェーズ/クロックを使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- 長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はQD OLEDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。
- オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューからスクリーンセーバーとピクセルオービティング機能を常にオンにしてください。詳細については、第8章「画面のメンテナンス」を参照してください。
- スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- PCのディスプレイ解像度をモニタの推奨される画面のネーティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用される液晶の通常の特性です。詳細については、画素ポリシーを参照してください。

*「電源オン」ライトが強すぎて、邪魔になる

- OSDのメインコントロールの電源LEDセットアップを使用して、「電源オン」ライトを調整できます。

更なる支援については、重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照して、Philips カスタマーサービス担当者に連絡してください。

* 機能は、ディスプレイにより異なります。

13.2一般FAQ

Q1: モニタを取り付けるとき、画面に「このビデオモードを表示できません」というメッセージが表示された場合、どうすればいいのですか?

A: このモニタの推奨される解像度 : 3440 x 1440.

- すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたモニタに接続します。
- Windowsのスタートメニューで、設定/コントロールパネルを選択します。コントロールパネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。画面のコントロールパネル内部で、「設定」タブを選択します。設定タブの下の、「デスクトップ領域」とラベルされたボックスで、スライダを3440 x 1440 画素に動かします。
- 「詳細プロパティ」を開き、リフレッシュレートを60Hzに設定し、OKをクリックします。
- コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが3440 x 1440 に設定されていることを確認します。
- コンピュータを停止し、古いモニタを取り外し、Philips QD OLEDモニタを再接続します。
- モニタの電源をオンにしてから、PCの電源をオンにします。

Q2: QD OLEDモニタの推奨されるリフレッシュレートは何ですか?

A: QD OLEDモニタの推奨されるリフレッシュレートは60 Hzです。画面が乱れた場合、100 Hzまで設定して乱れが消えることを確認できます。

Q3: .Inf ファイルおよび .icm ファイルとは何ですか ? ドライバー (.inf および .icm) インストールする方法は ?

A: これらは、ご利用のモニター用のドライバーファイルです。ご利用のコンピューターは、モニターを初めて設置するとき、モニタードライバー (.inf および .icm ファイル) のインストールを求める場合があります。ユーザーマニュアルの手順に従い、モニタードライバー (.inf および .icm ファイル) を自動的にインストールしてください。

Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか ?

A: ビデオカード/グラフィックドライバとモニタは使用可能な解像度を一緒に決定します。Windows®コントロールパネルの下の「画面のプロパティ」で希望の解像度を選択できます。

Q5: OSD を通してモニタを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか ?

A: ➡ ボタンを押して [セットアップ] を選択し、⬇ ボタンを押して [リセット] を選択すると、すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。

Q6: QD OLED 画面はきっかき傷への耐性がありますか ?

A: 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖た物体から保護するようにお勧めします。モニタを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていないことを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。

Q7: QD OLED 表面はどのようにして洗浄すればいいのですか ?

A: 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。

Q8: モニタの色設定を変更できますか ?

A: はい、次の手順のように、OSDコントロールを通して色設定を変更できます。

- 「 ➡ 」を押してOSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューを表示します
- [SmartImage] を選択し、⬇ ボタンを押し、次に ➡ ボタンを押して [色温度] オプションを選択し、次に ➡ ボタンを押して色の設定に入ります。以下の 8 つの設定があります。

1. 色温度：設定は次のとおりです。ネイティブ、プリセット、5000K、6500K、7500K、8200K、9300K、11500K。5000K レンジに設定すると、パネルは「暖かな、赤ー白カラートーン」で表示され、11500K では「クールな、青ー白トーン」で表示されます。
2. R.G.B. Settings: これは、標準設定で、異なるデバイス（例えば、デジタルカメラ、モニタ、プリンタ、スキャナなど）間で色が正しく変換されていることを確認します
3. ユーザー定義：ユーザーは、赤、緑、青の色を調整して、好みの R.G.B. 設定を選択できます。

注
加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り（ケルビン度）によって表されます。2004K など低いケルビン温度は赤で、9300Kなどの高い温度は青です。中間温度は白で、6504Kです。

Q9: QD OLED モニタを PC、ワークステーション、Mac に接続できますか？

A: はい、できます。すべてのPhilips QD OLEDモニタは、標準のPC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Macシステムにモニタを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

Q10: Philips QD OLED モニタはプラグアンドプレイ対応ですか？

A: はい。モニタは、Windows 11/10/8.1/8、Mac OSXとプラグアンドプレイ互換です。

Q11: QD OLED パネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか？

A: 長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」は、QD OLEDパネル技術ではよく知られた現象です。オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューからスクリーンセーバーとピクセルオービティング機能を常にオンにしてください。詳細については、第8章「画面のメンテナンス」を参照してください。

警告
ひどい「焼き付き」または「後イメージ」または「ゴースト像」症状は消えずに残り、修理できません。これらに起因する故障は保証には含まれません。

Q12: 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか？

A: ご使用のQD OLEDモニタは3440 x 1440 @ 60Hzのネイティブ解像度で最も良好に動作します。もっとも望ましい画像を表示するには、この解像度を使用してください。

Q13: ホットキーをロック解除 / ロックする方法は？

A: ⬇を10秒間押してホットキーをロック解除/ロックします。これにより、モニタには「注意」のメッセージが現れ、下図のようにロック解除/ロックのステータスを表示します。

Q14: EDFUについて記載された重要な情報マニュアルをどこで入手できますか？

A: 重要な情報マニュアルは、Philipsウェブサイトのサポートページからダウンロードできます。

13.3Multiview FAQ

Q1： PIPサブウィンドウを拡大できますか?

回答：はい、できます。3つのサイズから選択できます。 [Small](小)、[Middle](中)、[Large](大)。 ➡を押してOSDメニューに入ることができます。 [PiP / PbP]メインメニューから優先する[PiP Size](PiPサイズ)オプションを選択してください。

Q2： ビデオから独立して、オーディオを聴くにはどうすればいいのですか?

回答：通常、オーディオソースはメインのピクチャソースにリンクされています。 オーディオソースの入力を変更したい場合、➡ を押してOSDメニューに入ることができます。 [Audio](オーディオ)メインメニューからお気に入りの[Audio Source](オーディオソース)オプションを選択してください。

ディスプレイを次にオンにするとき、ディスプレイはデフォルトで最後に選択されたオーディオソースを選択します。 これを再び変更したい場合、上のステップを行ってお気に入りのオーディオソースを新しく選択して、「デフォルト」モードにする必要があります。

Q3： PIP/PBPを有効にすると、サブウィンドウがちらつくのはなぜですか?

回答：サブウィンドウのビデオソースがi-timing(interlace timing/インターレースタイミング)になっているためです。サブウィンドウの信号ソースをP-timing(progressive timing/プログレシブタイミング)に変更してください。

2024©TOP Victory Investments Ltd。無断複写・転載を禁じます。

この製品は、Top Victory Investments Ltd.によって製造され、その責任下で販売されており、Top Victory Investments Ltd.は、この製品に関する保証人です。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン：34M2C6500AM